

# 第一学年だより

町田市立薬師中学校  
第1学年  
令和7年12月5日  
第30号

## 「不自然な独り言」～道徳の授業より～

道徳の授業は学年教員一人一人が一つのテーマを全クラス順番に授業をする方法であることを、以前の学年だよりでご紹介しました。先生方も同じテーマで4回授業をするので、最初と最後のクラスでは多少やり方が変化しているかもしれませんが、それにしても、クラスによって反応や意見の違い、考え方が異なるのは教える方の私たちにとっても大変新鮮で、興味深いことです。

教材の中に『不自然な独り言』という教材があります。ある日、弟の欲しがっていた漫画を古本屋で発見した主人公は、急いで自転車で家に向かいます。が、交差点で白杖を持った男の人に出会います。「青になったら一緒に渡りましょう。」と言いたかったのが言えず、その代わりに「青になった。渡ろうっと。」と、不自然な独り言をつぶやいてゆっくり横断歩道を渡ります。ささやかな親切をすることができなかった主人公は、ほろ苦さを感じ、最後に自転車をこぎながら「青ですよ。一緒に渡りましょう」と一人つぶやく、という話でした。

思いやりとは一体何だろう？また、その気持ちを伝えるとき、どんなことを大切にしたいと思うだろうか？と考える授業でした。互いに知っている人物ならともかく、全然知らない人に親切な言葉をかけることができるだろうか？という問いかけには約半数の人が「いや、無理。話しかけられない」あとの半数の人が「全然大丈夫。話しかけるよ。」という具合に意見が分かれました。年齢のある程度経た大人なら声をかけることができても、自分が中学生の時はやはり無理だったかなと自分を振り返り話をしました。ということは、中学生の皆さんが今もし無理でも、年齢とともに変化していくかもしれませんね。人間って経験や年齢によって心や行動が変化していくので面白いですよ。

また思いやりの気持ちを伝えるとき、どんなことを大切にしたいか、そしてこれからの生活の中でどのようなことを心掛けたいか書いてもらいました。いろいろな意見をこの紙面で皆さんと共有したいと思います。

- 目で見えること以外のこともやってあげる。言葉で伝えることもする。
- 相手の立場になって相手にとってうれしいと感じてもらえることをする。
- 相手の気持ちを考える。人の傷つくことを言わない。周りをよく見る。人のことを受け入れる（好きなものや、推しなど）
- 思いやりが自然にできる人間になれば良いです。この話を通して思いやりの大切さと大変さが分かったので、いざこざいう場面に出たときは勇気を出せるように頑張ります。

学校生活でも、皆さんの「思いやり」で救われる人がいるかもしれませんね。ぜひ心掛けてみてください。

～ 来週の予定 ～

月・日・曜日	予	定
12月 8日(月)	三者面談 午前授業	③⑥カット 再登校15:30
9日(火)	↓	③④カット ↓
10日(水)		
11日(木)	午前授業	③④カット 放課後部活動なし パワーアップ教室(英語)
12日(金)		